

## 寅さん歩 その26

### 東京の主要道路の起点～終点

### 蔵前橋通り－2

平野 武宏



道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」、「大久保通り」と歩いてきました。

今回は「蔵前橋通り」を歩いています。蔵前橋通りは文京区湯島の本郷通りのサッカーミュージアム入口交差点を起点に、江戸川区北小岩の千葉街道の江戸川交差点に至る延長約14kmの道です。写真右上は蔵前橋通りの道路名標識（都道315号線）です。蔵前橋通りは今までに歩いた多くの道で交差しましたが、終点が千葉県境なので後回しにしていた道です。前は起点から法恩寺橋まで歩きました。

今回は法恩寺橋から新小原橋交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[法恩寺橋・大横川親水公園] 墨田区石原四丁目

最寄駅 JR総武線 錦糸町駅

法恩寺橋（写真下左）の下は「大横川親水公園」（写真下右）になっています。



大横川親水公園は錦糸町付近から東京スカイツリー南側まで続く親水公園です。

## 〔法恩寺〕 墨田区太平一丁目 最寄駅 JR総武線 錦糸町駅

法恩寺は門前の説明板には「1458年（長禄2年）太田道灌が江戸城築城の折、城内鎮護の祈願所として現在の江戸城平川口付近に建立した日蓮宗の寺です。徳川家康が江戸幕府を開くにあたり移転、当地には1695年（元禄8年）移転しました。当時は塔頭20カ寺、末寺11カ寺を擁しました。町名の「太平」は太田道灌の「太」と山号の平河山の「平」による」と記載。



## [タワービュー通り] 墨田区太平二丁目

最寄駅 JR総武線 錦糸町駅

太平二丁目交差点左側にタワービュー通りの案内板がありました。確かに東京スカイツリーのビュースポットでした。



## [太平四丁目交差点] 墨田区太平四丁目

最寄駅 JR総武線 錦糸町駅

太平四丁目交差点（写真下右）で四ツ目通り（都道465号線）と交差します。



左へ行くと押上駅方面、右へ行くと錦糸町駅・東陽方面です。

## [天神橋] 墨田区太平四丁目・江東区亀戸三丁目

最寄駅 JR総武線 錦糸町駅

天神橋（写真下左）は横十間川（写真下右）にかかる橋でここを渡ると左側が亀戸天神社です。



## [亀戸天神社] 江東区亀戸三丁目

最寄駅 JR総武線 錦糸町駅

亀戸天神社（写真下左右）は1661年（寛文元年）菅原道真の末裔 大宰府天満宮の神官が諸国を歩いてこの地を見つけて創建したと伝わります。梅、藤の名所です。寅さん歩 43 健康ご利益めぐりー7 江東区ー2、寅さん歩 21 江戸・東京の祭ー20（花の祭ー5）をご覧ください。



## [香取神社] 江東区亀戸四丁目

最寄駅 JR総武線 亀戸駅

香取神社参道入口（写真下左）があります。ここから約 300m先にスポーツの神様 香取神社があります。今回は立ち寄りませんので、寅さん歩 43 健康ご利益めぐりー7 江東区ー2 をご覧ください。また「勝矢祭」が有名です。寅さん歩 90 江戸・東京の祭ー19（江戸らしい祭ー18） をご覧ください。



[亀戸四丁目交差点] 江東区 亀戸四丁目

最寄駅 JR 総武線 亀戸駅

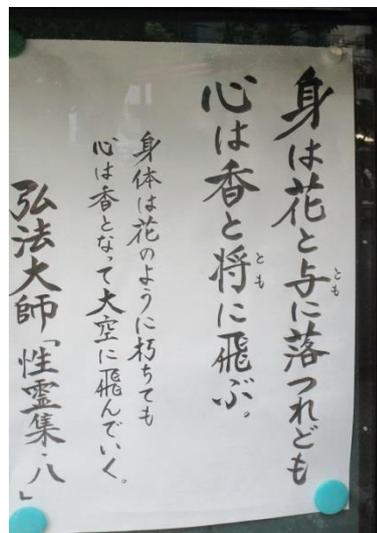


亀戸四丁目交差点（写真上右）で明治通り（都道 306 号線）と交差します。左へ行くと東向島方面、右へ行くと亀戸駅・南砂方面です。蔵前橋通りは直進します。

## [寶蓮寺・正木ひろしの墓] 江東区亀戸四丁目

最寄駅 JR総武線 亀戸駅

左側にある門柱に真言宗 寶蓮寺の表札があり、右の塀に正木ひろし墓碑の説明板がありました。『正木ひろし（1896～1975）は反権力・正義の弁護士として多くの冤罪事件を手がけ日本のペリーメイスンといわれた。主な事件はチャタレー裁判、菅生、首なし、丸正事件などで八海事件「真昼の暗黒」の題名で映画化された』と記載。写真下右は左側に掲示された弘法大師の言葉です。



## [新小原橋交差点] 江東区亀戸八丁目

最寄駅 東武亀戸線 亀戸水神駅



手前の東武亀戸線の線路は歩道橋を上り下りすると新小原橋交差点（写真左）です。丸八通り（都道 476 号線）と交差します。左へ行くと小原橋・立花・明治通り方面、右へ行くと京葉道路・亀戸駅方面です。左上は車の通る蔵前橋通りで、歩行者は脇の道を上がり、旧中川にかかる江東新橋を渡ります。

今回はここまでとします。

## [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。連絡を取り合って、どこかの宿でバーチャル宴会をしたいですね。皆様の旅の進度のご連絡をお待ちしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年10月8日由比宿（現在の静岡県静岡市清水区）（江戸日本橋から152km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左は「由比 薩埵嶺」です。薩田峠から見る富士山は昔から絶景ポイントとして知られていました。現在の薩田峠展望台から見ると当時の景観を重ね合わせることが出来ます。

由比は江戸初期に討幕を企てたとされる由井正雪(1605～1651)の実家があります。また、奥駿河湾に面した由比は昔からさくらえび漁が盛んで、現在もさくらえび（写真下左）が一番の名物です。また江戸の昔から東海道を行き来する旅人の間で名物だったのはたまご餅（写真下右）です。たまご餅は東海道中膝栗毛にも登場しています。



毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝